

2008年度 第3四半期決算説明資料

2009年1月30日
関西電力株式会社

資料 目次

	(Page)
■2008年度 第3四半期決算の概要	
・ 決算概要（連結・個別）	----- 2
・ 主要データ（個別）	----- 3
・ 販売電力量の状況	----- 4
・ 経常収益・費用増減（個別）	----- 5
■業績予想の修正について	
・ 業績予想修正のポイント	----- 6
・ 業績予想（連結・個別）	----- 7
・ 業績予想の増減説明（個別）	----- 8
■グループ事業の状況	
・ グループ事業の決算概要	----- 9
・ グループ事業の通期収支見通し	----- 10
■参考資料	
・ 各事業における販売状況	----- 11

決算概要(連結・個別)

(単位:億円)	連結			個別			連単倍率	
	08-3Q 累計	07-3Q 累計	増減	08-3Q 累計	07-3Q 累計	増減	08-3Q 累計	07-3Q 累計
売上高	20,395	19,620	+775 (+4.0%)	18,792	18,132	+660 (+3.6%)	1.09	1.08
営業損益	△811	1,563	△2,374 (-)	△1,117	1,332	△2,450 (-)	-	1.17
経常損益	△1,076	1,289	△2,366 (-)	△1,363	1,056	△2,419 (-)	-	1.22
四半期純損益	△701	866	△1,568 (-)	△899	708	△1,608 (-)	-	1.22

(単位:億円)	連結			個別		
	08/12末	08/3末	増減	08/12末	08/3末	増減
総資産	69,525	67,896	+1,629 (+2.4%)	62,540	61,350	+1,190 (+1.9%)
有利子負債	35,141	31,664	+3,477 (+11.0%)	31,372	28,133	+3,238 (+11.5%)
自己資本比率	23.7%	27.1%	△3.4%	22.4%	26.1%	△3.7%

主要データ(個別)

	08-3Q 累計		07-3Q 累計		増減
販売電力量(億kWh) (対前年同期比、%)	(99.0)	1,099	(100.8)	1,109	△11
電灯(億kWh)	(98.6)	346	(101.3)	351	△5
電力(億kWh)	(99.2)	752	(100.5)	758	△6
原子力利用率(%)		66.0		76.7	△10.7
出水率(%)		84.9		86.4	△1.5
全日本原油CIF価格(\$/b)		105.1		73.5	+31.6
為替レート(インターバンク)(円/\$)		103		117	△14
金利(長期プライムレート)(%)		2.33		2.36	△0.03

販売電力量の状況

【対前年同期比較】

(単位: 百万kWh, %)

		第2Q累計	10月	11月	12月	第3Q累計	
特定規模需要以外	電 灯	23,531 (98.7)	3,529 (101.0)	3,689 (103.6)	3,900 (91.8)	34,650 (98.6)	
	電 力	低 圧	3,057 (94.8)	450 (87.4)	359 (99.1)	360 (87.5)	4,225 (93.6)
		その他	435 (91.3)	59 (106.9)	72 (96.4)	77 (85.1)	643 (92.3)
	計	3,492 (94.3)	509 (89.3)	430 (98.7)	437 (87.1)	4,868 (93.4)	
	電灯電力計	27,024 (98.1)	4,038 (99.3)	4,119 (103.0)	4,337 (91.3)	39,518 (97.9)	
特定規模需要		48,421 (101.3)	7,838 (97.5)	7,166 (97.6)	6,934 (93.7)	70,360 (99.7)	
合 計		75,445 (100.1)	11,875 (98.1)	11,286 (99.5)	11,271 (92.8)	109,877 (99.0)	
内特定 再規 掲模	業務用	18,052 (99.1)	2,859 (93.9)	2,568 (99.2)	2,626 (100.2)	26,105 (98.6)	
	産業用	30,193 (102.6)	4,951 (99.8)	4,576 (96.8)	4,287 (90.1)	44,008 (100.3)	

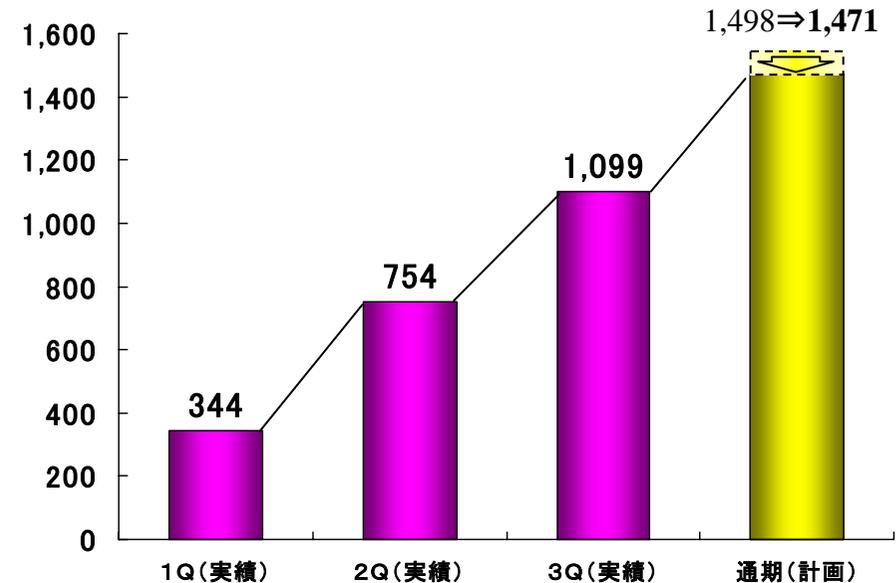
* ()内の数値は対前年比の%

(実績)

最近の急速な景気後退を背景とした企業の生産活動の低下などがあったものの、第2四半期までの企業の設備投資や輸出が増加傾向にあったことなどから、産業用需要は増加しました。しかしながら、8月中旬から10月上旬までの気温が前年より低く推移し、冷房需要が減少したことなどから、販売電力量は109,877百万kWhと、前年同期に比べて1.0%の減少となりました。

【販売電力量の実績・見通し】

(単位: 億kWh)



(見通し)

景気後退の影響などにより、2008年10月に公表した通期の販売電力量の計画値1,498億kWhを1,471億kWhに引き下げました。

経常収益・費用増減(個別)

(単位:億円)	08-3Q 累計	07-3Q 累計	増減	増減説明
経常収益合計	19,039	18,271	+767	
(売上高再掲)	(18,792)	(18,132)	(+660)	
電灯電力料収入	17,635	17,133	+502	{ 単価増による増 +670 販売電力量の減少による減 Δ170
その他	1,403	1,138	+265	{ 附帯事業営業収益 +112 雑収益 +90
経常費用合計	20,402	17,215	+3,186	
人件費	1,780	1,596	+184	退職給与金+182
燃料費	5,599	3,707	+1,891	{ 火力燃料費 +1,948 原子燃料費 Δ 56
原子力バックエンド費用	861	725	+136	再処理等費+161
修繕費	1,920	1,650	+269	原子力+326、火力 Δ24
公租公課	1,138	1,133	+5	
減価償却費	2,279	2,335	Δ55	送電Δ23、配電 Δ14
購入電力料	3,703	2,940	+763	他社購入 +494、地帯間購入 +269
支払利息	385	383	+2	
その他	2,733	2,743	Δ10	
経常損益	Δ1,363	1,056	Δ2,419	

・原子力利用率減 +650
 ・販売電力量の減 Δ110
 ・原油・LNG・石炭価格上昇 +2,030
 ・円高 Δ450

2008年度業績予想修正のポイント

最近の景気後退の影響による販売電力量の減少に伴い、売上高が減少するものの、燃料価格の大幅な下落や円高の進行により、燃料費等の大幅な減少が見込まれることなどから、連結・個別ともに業績予想を修正いたしました。

<主な変動要因>

(1) 売上高について

販売電力量の減少による 電灯電力料収入の減少等	●連結・個別ともに 売上高 △約200億円	【販売電力量の減少】 1,498億kWh → 1,471億kWh (10月公表時) (今回予想)
----------------------------	------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------

(2) 営業費用について

燃料価格の下落 による燃料費等の減少	●連結・個別ともに 営業費用 △約450億円	【全日本原油CIF価格】 110ドル/バレル → 92ドル/バレル (10月公表時) (今回予想) 【為替レート】 106円/\$ → 101円/\$ (10月公表時) (今回予想)
-----------------------	---------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(単位:億円)	連結			個別		
	今回予想	10月公表	増減	今回予想	10月公表	増減
売上高	28,200	28,400	(Δ0.7%) Δ200	25,900	26,100	(Δ0.8%) Δ200
営業損益	20	Δ620	(-) +640	Δ430	Δ1,050	(-) +620
経常損益	Δ380	Δ950	(-) +570	Δ800	Δ1,350	(-) +550
当期純損益	Δ280	Δ640	(-) +360	Δ560	Δ910	(-) +350

<主要データ>

	今回予想	10月公表
販売電力量(億kWh)	1,471	1,498
原子力利用率(%)	71.5	71.6
出水率(%)	87.9	92.3
全日本原油CIF価格(\$/b)	92程度	110程度
為替レート(インターバンク)(円/\$)	101程度	106程度
金利(長期プライムレート)(%)	2.3程度	2.3程度

<影響額>

(単位:億円)	今回予想	10月公表
原子力利用率:1%	90	98
出水率:1%	15	16
全日本原油CIF価格:1\$/b	51	56
為替レート:1円/\$	78	84
金利:1%	59	62

【2008年度配当予想】

10月公表値「期末30円、年間60円」を変更いたしません。

2008年度 業績予想の増減説明(個別)

(単位:億円)	今回予想	10月公表	増減	増減説明	2007年度実績
売上高	25,900	26,100	△200	<ul style="list-style-type: none"> ・販売電力量の減 △440 ・用途構成変動等に伴う平均販売単価の増 +250 	24,785
経常損益	△800	△1,350	+550	<ul style="list-style-type: none"> ・販売電力量の減 △60 ・用途構成変動等に伴う平均販売単価の増 +250 ・燃料価格の下落による燃料費等の減 +450 ・購入電力量の増による燃料費等の費用減 +60 ・出水率の低下による燃料費の増 △70 ・原子力利用率の低下による燃料費の増 △10 ・有価証券評価損 △70 	1,109
当期純損益	△560	△910	+350		554

(単位:億円)		08-3Q 累計	対前年 同期比	増減説明
グループ事業 全体 ※1	外売上高	2,153	+219	
	経常損益	322	+81	
総合 エネルギー ※2	外売上高	518	+100	・ガス販売価格の増
	経常損益	△8	+7	・原料価格の低下
情報通信 (ケイ・オプティコム 再掲)	外売上高	816 (675)	+99 (+68)	・FTTH顧客の増
	経常損益	93 (85)	+56 (+57)	・FTTH顧客の増 ・税制改正に伴う減価償却費の減
生活アメニティ	外売上高	294	△22	・不動産事業における住宅分譲の減
	経常損益	68	±0	
グループサポート 他	外売上高	524	+41	・工事の受注増
	経常損益	168	+16	・リース会計基準変更の影響等

※1 本表の数値は、原則、連結決算上の相殺消去等を行う前の、各社実績を合計した数値である。但し、連結決算上で相殺消去される未実現為替差損益を除く。

(経常損益は持分法適用会社の持分相当額を算入)

※2 附帯事業(ガス事業、燃料販売事業、蒸気供給事業の一部)を含む。

(単位:億円)		今回予想	10月公表値 からの増減	増減説明
グループ事業 全体 ※1	外売上高	2,980	△90	
	経常損益	490	+65	
総合 エネルギー ※2	外売上高	690	△80	・ガス販売量の減 ・ガス販売価格の減 ・原料価格の低下
	経常損益	10	+20	
情報通信 (ケイ・オプティコム 再掲)	外売上高	1,120 (921)	+40 (+28)	・FTTH顧客の増 ・企業向けサービスの売上増
	経常損益	120 (108)	+5 (+4)	
生活アメニティ	外売上高	390	△10	
	経常損益	80	±0	
グループサポート 他	外売上高	780	△40	・工事の受注減
	経常損益	280	+40	・未実現為替差損控除の影響等

※1 本表の数値は、原則、連結決算上の相殺消去等を行う前の、各社実績を合計した数値である。但し、連結決算上で相殺消去される未実現為替差損益を除く。

(経常損益は持分法適用会社の持分相当額を算入)

※2 附帯事業(ガス事業、燃料販売事業、蒸気供給事業の一部)を含む。

(参考) 各事業における販売状況

		2007-3Q 累計	2008-3Q 累計	2008～2010 累計(計画)
電気	全電化住宅獲得件数	80千件	82千件	380千件

【参考】		08年12月末
電気	全電化住宅契約累計	658千件

		2007-3Q 累計	2008-3Q 累計	2008(見通し)
総合 エネルギー	ガス・重油販売量 (LNG換算)	62万トン	63万トン	80万トン

		08年3月末	08年12月末	09年3月末(見通し)
情報通信	家庭向けサービス	76.1万件	86.6万件	90万件
	うちFTTHサービス	68.2万件	80.2万件	84万件
	企業向け通信サービス	2.8万件	3.0万件	3.0万件

ご質問・お問い合わせ等は、下記までお願いします。

担 当： I Rチーム 松田、岡野、堅田

電話番号： 06-7501-0315

050-7104-1818 (松田)

050-7104-1812 (岡野)

050-7104-1781 (堅田)

F A X： 06-6447-7174

e-mail： matsuda.yoshikazu@b2.*****.co.jp (松田)

okano.ryuji@e3.*****.co.jp (岡野)

katata.hideki@b4.*****.co.jp (堅田)

「*****」には「kepco」と記入してください。

本資料に記載されている当社の業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果となる可能性もあることをご承知おき下さい。